

日本語の文字特性は、横配置より縦配置の方が理解しやすいことにあります。

縦書き文章を読むとき視線は上から下へ移動します。

横線の多い日本語は、縦移動の視線を遮ります。つまり視線が文字に引かかるのです。視線が引かかるから脳が文字を認識します。

例)

事象には必ず理由がある。
視線の動きは↓↓↓↓↓

それに対して横書きは視線が引つかからないため、脳が文字を認識し辛くなります。これは無意識に脳が処理をしているのでなかなか気づきません。

一方で縦線が多い英語は、横移動の視線を遮ります。つまり英語は横書きが読みやすく、理解しやすい文字特性を持っているのです。縦書きにした英語が読みにくいのは、上下に視線を移動した際に、視線に引つかかりにくいからです。

例)

Without haste, but without rest.

視線の動きは→→→→→→→

国語の教科書、新聞をはじめ縦書きの日本語はとても読みやすく、頭に入ってきます。嘘だと思う人は、試しに同じ文章を縦書きと横書きにして読んでみましょう。

別の側面から見ると、日本語を横書きにした読み物は頭に入りにくいので、情報としては取り扱いやすいと言う利点があります。

この効用を知ると、縦書きと横書きを効果的に使い分けできるようになります。

例えば…恋文なんかも縦書きだと成功率が上がる…？